

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県新宮市 新宮駅東市営駐車場（はまゆう）

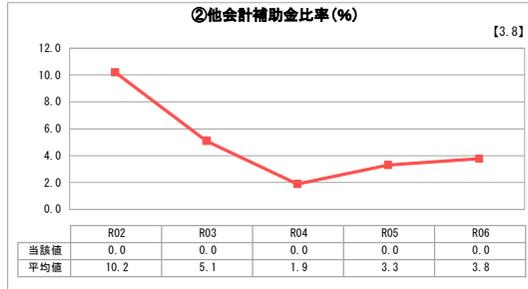
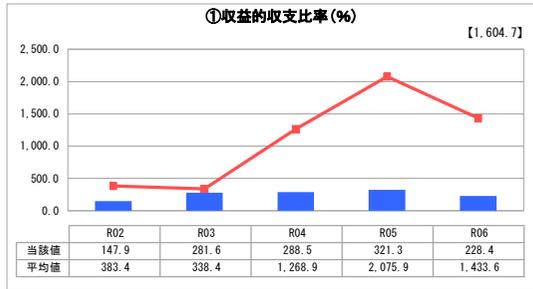
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	30	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	3,201
収容台数(台)	時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
86	100	無

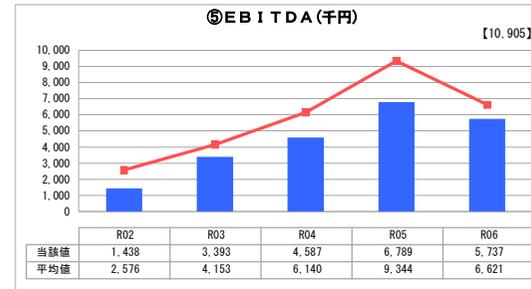
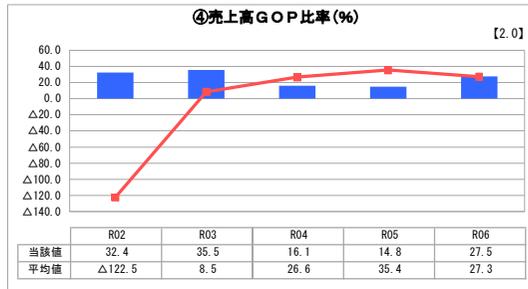
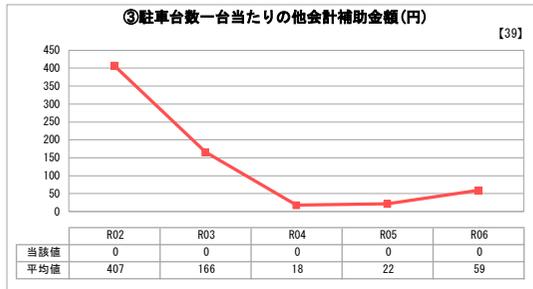
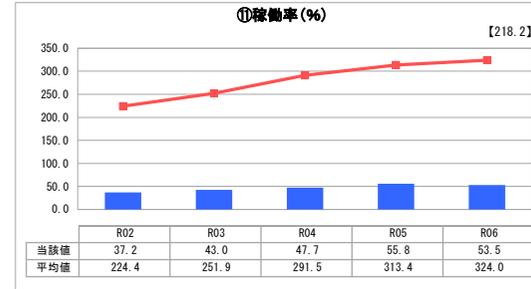
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

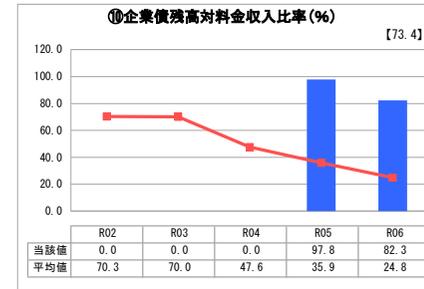


⑦敷地の地価(千円)

84,529

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率は100%を超えていることから、費用に見合った収益が確保されていることから健全経営となっている。

②他会計補助金比率は0%で他会計からの補助金はないため、現状に問題はない。

③②と同じ

④4年度からの企業債返還に加え、機材の交換等により営業費用が増え数値は減少したが、経営改善の取り組みは今のところ検討していない。

⑤前年度と比較し利用台数が約3.4%減少しそれに伴い平均値を下回っているが収益性に問題はない。

2. 資産等の状況について

⑦市内全体の地価の下落により、当敷地も年々評価額が下がっている状況にあるが、大幅な下落はないため、微減にとどまっている。

⑧令和元年度に隣接地を新たな駐車場として整備し、また従来使用していた駐車場の路面舗装工事を行ったため、予定はない。

⑩令和元年度に行った整備事業の企業債を130万円ずつ償還しており、残高は減少している。

3. 利用の状況について

①稼働率は依然として平均値を下回る水準であるものの、立地条件が良いため、一般駐車および定期駐車者の安定した利用は続いていることから、収益に関して現状問題はないと判断する。

コロナ禍からの回復、稼働率は増えつつあるものの楽観視は出来ない状況であり、引き続き新宮市のホームページ等で駐車場の利用促進を図っていく。

全体総括

当駐車場は、新宮駅に隣接する24時間運営の貸し駐車場であり、新宮駅の利用促進およびまちなか観光推進に大きな役割を果たしている。

コロナの影響も落ち着き従来通りイベントを実施する市町村も増加していることから利用台数も回復傾向にある。当市の人口は減少傾向にあるが駐車場稼働率は現在その影響は見られないことから、引き続き健全な状態を維持していく。

今後も市広報紙やホームページへの掲載により定期契約駐車および一般駐車利用者の増加を図るとともに、安定した収支状況を保持できるよう類似施設の状況調査・研究を行うことで、良好な運営の継続に努めていく。

また、支出面では機械管理および警備業務を委託することで経営の効率化を図っているため進んだ人材確保の必要は無い状況にある。しかし、駐車場のアスファルトが一部隆起している部分があるため、状態を確認しながら必要に応じて路面補修工事を検討していく。物価高騰により駐車場設備品や消耗品の価格は上昇傾向にあるが引き続き健全な状態を維持できるよう、費用の平準化に努め、さらなる経営改善の余地を探っていく。